

奈良県立美術館

プレスリリース／2026 年 7 月 17 日

特別展

時代を越えて ～日本画のゆくえ

特集展示：近代奈良の日本画家 庄田鶴友と植中直斎

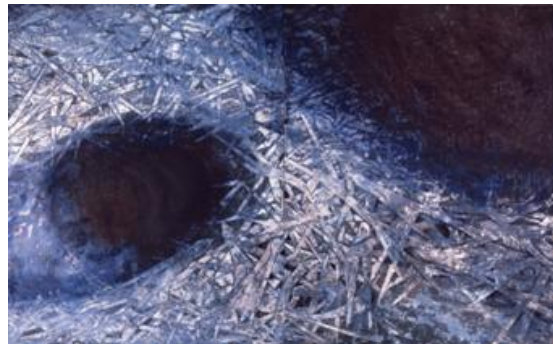
Masterpieces of Modern Japanese-style Paintings

Special Features: SHODA Kakuyu and UENAKA Chokusai

令和 8（2026）年 9 月 19 日（土）－11 月 15 日（日）

主催・会場 奈良県立美術館

Nara Prefectural Museum of Art



上田臥牛《群翔（A）》昭和 39 年（1964）当館蔵

展覧会の趣旨

「日本画」とは、日本の伝統的な絵画の総称ですが、一般には、明治時代以降、西洋から伝えられた油彩画と区別するために生まれた呼称です。墨や膠、岩絵の具といった日本古来の伝統的な画材を用いて描かれており、近世以前より伝えられてきた技法や表現に、西洋画などの影響を取り入れながら変化し、展開してきました。本展では、当館の所蔵品・寄託品の中から近代日本画の優品を展示し、その歴史的な流れを振り返ります。

また、特集展示として奈良ゆかりの日本画家・庄田鶴友と植中直斎の作品を紹介します。鶴友による情感豊かな風景画や直斎が描いた歴史浪漫溢れる人物画を通して、日本画の持つ魅力や特質を探ると同時に、時代を越えて受け継がれてきた日本画特有の感性や美意識に触れる機会となれば幸いです。

本展の見どころ

1. 奈良県立美術館が所蔵、寄託を受けた近代日本画の中から、選りすぐりの優品を展示し、日本画の持つ魅力や特質に触れていただきます。
2. 明治時代以降、大正・昭和戦前期、戦後から現代に至るまで、多種多様な展開を見せた日本画の歩みを振り返ります。
3. 特集展示として奈良県出身の日本画家・庄田鶴友と植中直斎の作品にスポットを当て、知られざる地域ゆかりの画家たちの活動を紹介します。

出品件数（予定）

約 80 件

展示構成

- I 伝統の継承～明治時代
狩野芳崖、橋本雅邦、鈴木 松 年、竹内栖鳳、上村松 園など、近世以前より伝わる様々な流派の技法や表現方法を継承しながら、近代日本画の礎を築いた明治時代の画家たちの作品を紹介します。
- II 創造と回帰～大正時代から昭和戦前期
竹久夢二、北野恒富、小野竹 喬、山口蓬 春、徳岡神泉など、古今東西の絵画に学びながら新たな表現を模索した画家たちの作品や、大坪正義、吉川観方など、復古的な表現に回帰した大正から昭和戦前期の画家たちの作品を紹介します。
- III 破壊と再生～戦後
岩崎巴人、上田臥牛、野村耕一といった日本画の枠組みを越える表現を探求した画家たちや不染鉄、平山郁夫、畠中光 享 など、多種多様な表現活動を展開した戦後の日本画家たちの作品を紹介します。
- IV 特集展示 近代奈良の日本画家 庄田鶴友と植中直斎
奈良ゆかりの日本画家・庄田鶴友と植中直斎の作品や資料を展示し、近代日本絵画史の一端を探ります。

同時開催 昭和 100 年企画 新収蔵記念／生誕 140 年 富本憲吉と昭和

▼展覧会の基本情報と来館案内

主催・会場	奈良県立美術館 〒630-8213 奈良県奈良市登大路町 10-6 TEL 0742-23-3968／FAX 0742-22-7032 美術館公式ホームページ： https://www.pref.nara.lg.jp/n044/11842.html X（旧ツイッター）： ArtmuseumN Facebook：narakenmuseum Instagram：nara_artmuseum
会期	令和 8(2026)年 9 月 19 日（土）～11 月 15 日（日）
開館時間	9:00～17:00（入館は 16:30 まで）
休館日	9/24(木)、28(月)、10/5(月)、13(火)、19(月)
後援	N H K 奈良放送局、奈良テレビ放送、奈良新聞社、西日本旅客鉄道株式会社、近畿日本鉄道株式会社、奈良交通株式会社、公益社団法人奈良市観光協会、奈良県教育委員会、奈良市、奈良市教育委員会
観覧料（予定）	一般 1200（1000）円、大学生 1000（800）円 ※（ ）内は団体料金（20 名以上） ※小・中・高生及び 18 歳未満は無料 ※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳（アプリを含む）をお持ちの方と介助の方 1 名は無料
交通案内	近鉄奈良駅 1 番出口から徒歩 5 分 JR 奈良駅 東口バス乗り場より奈良交通バス 「県庁前」下車

▼会期中の催し

関連イベント	◆講演会「日本画って何でしょうー日本画の魅力と可能性ー」 講師：畠中光^{はたなかこうきょう} 享（日本画家・インド美術研究家） 日時：10 月 4 日(日) 14:00～15:30（13:30 開場） 定員：60 名（当日先着順） 会場：レクチャールーム ◆美術講座「近代奈良の日本画家 庄田鶴友と植中直斎」 講師：松川綾子（当館学芸係長） 日時：11 月 1 日(日) 14:00～15:00（13:30 開場） 定員：60 名（当日先着順） 会場：レクチャールーム ◆担当学芸員によるギャラリートーク 日時：9 月 23 日(水・祝)・10 月 17 日(土) 会場：展示室 ※各イベントは参加無料。ただし、ご参加には当日の観覧券が必要です。 ※詳細については、当館ホームページに掲載いたします。
内覧会	下記の日程で、関係者・プレス向けの内覧会を開催いたします。 参加ご希望の方は、当日当館までお越しください。 9 月 18 日(金) 14:00～16:00（14:15～開会式 14:30～担当学芸員による展示解説）

取材のご依頼・広報に関するお問い合わせ： 奈良県立美術館 〒630-8213 奈良市登大路町 10-6
TEL：0742-23-3968 FAX：0742-22-7032 E-mail：narakenbipress@office.pref.nara.lg.jp
担当：学芸員 松川綾子

広報用画像

◇展覧会広報用に下記の画像を用意しております。ご希望の画像の番号（1～5）をお知らせください。

◇必ず下記のキャプションをご掲載ください。

ただし、ルビ（ふりがな）を付けるかどうかと制作年代の掲載は各メディアの判断に委ねます。

◇掲載にあたり作品部分のトリミング、文字載せはご遠慮ください。

No.	画像	キャプション
1		うえむらしやうえん 上村松園 《春宵》 昭和 11 年（1936） 絹本着色・掛幅 1 幅 奈良県立美術館蔵
2		しょうだかくゆう 庄田鶴友 《月四題》のうち「夏溪残月図」 大正 6 年（1917） 絹本着色・掛幅 4 幅のうち 1 幅 京都国立近代美術館蔵
3		うえなちやくさい 植中直斎 《堀川夜襲》 昭和 19 年（1944） 絹本着色・額 1 面 京都市美術館蔵
4		ふせんてつ 不染鉄 《銀杏》 昭和 40 年代後半頃 紙本着色・額 1 面 個人蔵
5		はたなかこうきやう 畠中光享 《行歩3部作の内一風の中を行く》 平成 13 年（2001） 紙本着色・額 1 面 個人蔵

URL : <https://www.pref.nara.lg.jp/n044/11842.html>